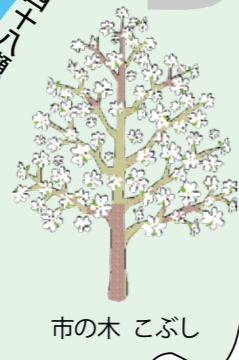
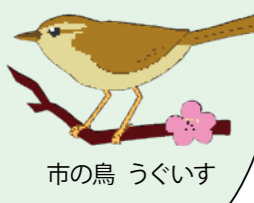
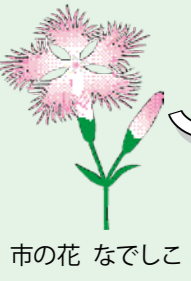


▲塔ノ岳

▲三ノ塔

▲大山

前田夕暮歌碑めぐり



前田夕暮について



明治16年7月27日、神奈川県大住郡南矢名村2134番地に生まれる。大根小学校、中郡共立学校（現秦野高等学校）、国語伝習所、二松学舎に学ぶ。
 明治37年22歳で上京し、若山牧水と相前後して尾上柴舟の門に入り、25歳で雑誌「向日葵」を刊行、「哀楽第一」「哀楽第二」によって新しい歌風が歌壇に認められる。
 明治44年「詩歌」を創刊し、「白日社」を創立、若山牧水とともに「比翼歌人」と併称され、「自然主義歌人」として「牧水、夕暮時代」を築く。
 大正13年42歳の時、雑誌「日光」を北原白秋と刊行し、新鋭鮮烈な作風は歌壇の新感覚派と称され、「白秋、夕暮時代」をつくる。
 昭和3年「詩歌」を復刊、やがて口語自由律短歌を開拓し、その中心になる。
 昭和18年61歳で文語定型短歌に復帰。
 昭和26年4月20日、69歳で逝去。

5 桜土手古墳公園「いまつきをへた」の歌碑



3 富士見橋「川床に」の歌碑



6 石庄庵「岡畑」の歌碑（寺山1580）

7 弘法山公園「生くこと」の歌碑



10 前田夕暮生誕の地（南矢名2134番地）



4 秦野市立図書館 構内「木のもとに」の歌碑



2 南小学校「自然がずんずん」の歌碑



1 秦野駅南口広場「うつぱりに」の歌碑



11 おおね公園「木に花咲き」の歌碑



8 県立秦野高等学校「まなかひに」の歌碑



9 大根小学校「ひまわり」の歌碑



*目安として番号順に巡ると「秦野駅」起点、「鶴巻温泉駅」終点になります。